

令和5年度 学校評価表

様式1

学校教育目標	「心豊かで自ら求めて学び生き生きと活動する生徒の育成」										
a ミッション	組織的な学校経営を生かした小中連携教育による主体性・表現力の育成					aビジョン 生徒が「因北中で学んでよかった」、保護者が「通わせてよかった」、地域の方々が「地域の宝である」と考える学校					

尾道市立
因北中学校

評価計画						自己評価					学校関係者評価		改善計画	
【校訓】 進取 気質の 継承	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月		1月		j 結果と課題の説明	k 二次評価		l コメント	m 改善案
						g 達成値	g 達成値	h 達成度	i 評価		イ	ロ		
【校訓】 進取 気質の 継承	授業改善による確かな学力の定着	表現力を高める活動の充実を通して、学びを深め、学力の定着を図る。	1 主体的・対話的で深い学び 学習課題の解決に向けて、疑問を表明したり相互に説明し合う場面を設定し、表現力やコミュニケーション能力を育成する。	「授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり広めたりしている」生徒の肯定的回答	80%以上									
			2 ICTの活用 ICTを有効活用し、授業改善を図る。	「ICTを活用して、学びが深まっている」生徒の肯定的回答	90%以上									
	表現力を高める活動の充実を通して 分かりやすい授業づくりを進め、学びを深め、学力の定着を図る。	「授業がよくわかる」と答えた生徒の肯定的回答	85%以上											
	標準学力調査、全国学力調査での全国平均以上（5教科、4月・1月）	標準学力調査、全国学力調査での全国平均以上	全国平均以上											
積極的な生徒指導の推進	自主的・主体的な活動を通して、自己肯定感を高める。	生徒会活動を活性化させ、一人一人が役割を主体的に果たし、諸活動の充実を図る。	「学校が楽しい」生徒の肯定的回答	80%以上										
			「自分には良いところがある」生徒の肯定的回答	80%以上										
体力の向上と健康の増進	生徒が、安心して生活できる学校づくりを進める。 ◎不登校SSR推進校	SSR、SC、教育支援センター等と密接な連携を図り、生徒が抱える多様な課題の解消を図る。	「安全・安心に学校生活を送れている」生徒の肯定的回答	100%										
			不登校生徒の人数	10人以下										
働き方改革の推進 信頼される学校づくり	基本的な生活習慣の確立や、体力・運動能力の向上を図る。	1 基本的な生活習慣を整える。 2 保健体育や部活動を通して、体力の向上を図る。	平日（月～金）1日あたりのゲームやスマホの使用時間	2時間以下										
			年間2回（前期・後期）の新体力テストにおいて、総合値が向上した生徒の割合	80%以上										
働き方改革の推進 信頼される学校づくり	組織として、業務改善、信頼される学校づくりを進める。	1 生徒に向き合う時間を確保するため、各分掌で現在の業務の軽減や効率化を図る。 2 マニュアルの遵守を通して、不祥事の未然防止を徹底する。	「日々の業務の中で、充実感を得られている」教職員の割合	80%以上										
			教職員の勤務時間外の在籍時間の割合	1カ月の時間外の平均4.5時間以内										
			不祥事0	不祥事0										

【自己評価 評価】
A：100≦（目標達成）
C：60≦（もう少し）<80
B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【学校関係者評価】
イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。
ハ：わからない。